

第 15 次 いわき市水道事業経営審議会（第 2 回）議事録

1 日時 平成 27 年 1 月 29 日（木） 午後 3 時 00 分～午後 5 時 05 分

2 場所 水道局 3 階 第 1 会議室

3 出席者

(1) 委員（出席：13 名）

石山伯夫、井上広信、岩崎楨子、大川信行、佐藤弓子、長谷川純一郎、
初瀬富士美、古川広子、村田和子、村田裕之、矢作すみ枝、山田肇、
吉田恭子

（欠席：2 名）

高橋孝光、松浦晋也

※ 50 音順、敬称略。

(2) 事務局 仲野管理者、三浦局長、金成次長、大嶺総務課長、渡邊経営企画課長、
片岡参事兼営業課長、高橋配水課長、横田工務課長補佐、國井浄水課長、
鈴木南部工事事務所長

○ 経営企画課

木内主幹兼課長補佐、佐野主任主査兼企画係長、金子主任主査兼財政係長、
企画係〔内田、渡邊、瀬谷〕

4 会議形式 公開

5 傍聴者数 0 名

6 会議次第

(1) 開会

(2) 会長挨拶

(3) 議事録署名人の指名

(4) 議事

ア 前回の審議会答申を踏まえた今後の進め方【資料 1】

イ 現行の市水道事業経営プラン（基本計画と中期経営計画）【資料 2】

ウ 水道料金のしくみ【資料 3】

エ その他

(5) 閉会

7 議事録署名人の指名

議事録署名人は、会長の指名により、井上広信委員と佐藤弓子委員に決定した。

8 議事

(1) 前回の審議会答申を踏まえた今後の進め方

<事務局説明>

○ 事務局から、資料 1 「前回の審議会答申を踏まえた今後の進め方」により、第 15 次
審議会の今後の進め方としては、第 14 次審議会の答申を踏まえ、基本計画・中期経営

計画に反映されることとなる水道施設再構築計画等の個別計画を先に説明し、それらを基本計画・中期経営計画に反映させていく考えであるなどの説明がなされた。

<主な発言内容>

- 資料1の個別計画の「3 投資必要額を確保するための資金計画」において、「事業費の圧縮、適正な企業債の発行等を反映させた長期の資金計画の策定」と記載されているが、この部分の解釈としては、アセットマネジメントの結果、料金値上げをして資金をつくることもできるが、企業債を発行して資金をつくることもできる。ただし、企業債は借金であるため、金利負担が発生するので後世に負担がかかる。

そのため、適正な企業債の発行等を長期の資金計画の中で考えるというところがポイントになる。

資金計画の中には水道料金の問題が含まれるが、単純に料金の値上げを審議するものではなく、長期を見据え、資金調達の中で料金をどのぐらい値上げするのが良いのか、それとも借り入れするのが良いのかを考えていくことになる。

(2) 現行の市水道事業経営プラン（基本計画と中期経営計画）

<事務局説明>

- 事務局から、資料2「現行の市水道事業経営プラン（基本計画と中期経営計画）」により、新たな基本計画を審議していく上で前提となる現行の市水道事業経営プランについて説明がなされた。

- ・ 基本計画
- ・ 中期経営計画

<主な発言内容>

- 資料2の16ページに事業運営の目標と進捗状況の説明があり、数値目標で管理されているが、数値以外で管理する方法はわかりにくく、数値で管理していることは評価できる。
- 水道事業におけるテロ対策については、国の指導もあり、水道局としては、テロ対策も含めて水道事業全般にわたる危機管理マニュアルを整備しようと考えており、平成29年度からの次期基本計画においては、監視カメラ等のハード対策も含めて検討していきたい。

(3) 水道料金のしくみ

<事務局説明>

- 事務局から、資料3「水道料金のしくみ」により、個別計画など事業計画の財源と関連してくる水道料金について、基本的な内容の説明がなされた。

- ・ 水道料金について
- ・ 水道料金決定の考え方
- ・ 料金改定の要因
- ・ 本市の水道料金

<主な発言内容>

- 口径別の料金収入がわかる資料を次回の審議会に提出願いたい。
大口径で契約をしている企業等の大口使用者の料金収入が、収入全体にどの程度の割合を占めているかなどの情報を知らないと、水道事業経営に与える影響の度合いが把握できない。
- 料金設定のあり方によっては、大口使用者である企業が、地下水などの使用に切り替えてしまう可能性があるため、工場等において、水道水を使うか地下水を使うかを判断する場合の損益分岐点を試算することができないか。
損益分岐点は、工場等の立地場所や業種によっても異なるし、工業用水の純度を上げるためのプラント費用や循環利用に係る設備の費用など水の利用方法によっても異なるので、平均化した話はなかなか難しいと思うが、大口使用者の料金の問題にかかわる話であるので、今後の審議会の中で、モデルケース等の設定も含めて検討していきたい。
- 地勢や人口の集中度など水道料金に差が表れる要因については、具体的な数字を用いて説明がなされれば説得力も納得度も高まる。
なお、安価な供給単価の裏に多額の企業債残高を抱えているなどの事業体もあり、料金と借金の関係も含めて考える必要がある。

(4) その他

- 次回日程等
 - ・ 第2回プレスタディミーティング
日時：平成27年3月20日金曜日 午後1時半から5時まで
内容：水道施設の視察
参加対象委員：新任の委員（会長・副会長も参加）
 - ・ 第3回審議会
日時 平成27年3月24日火曜日 午後3時から5時まで
場所 水道局3階第一会議室

9 閉会